

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	入間市					
提案事業名	旧石川組製糸西洋館館庭魅力アップ事業					
事業期間	令和2年度～令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 西洋館入館者数					
	(成果検証の具体的な方法) 西洋館入館者の数を計る。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	C
	従前値 (令和2年3月時点)	3,785人	目標値 (令和4年3月時点)	5,000人	実績値 (令和4年3月時点)	2,944人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		SNS、館庭の掲示、見学ガイドにおいて周知を図っている。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 西洋館館庭整備事業	○	歴史的価値のある門や灯籠を再建したことで施設全体の景観の向上につながり、住民からの注目度が高まった。また、駐車場を整備したことで利便性が高まり、遠方からの来館者が増加している。
② 西洋館館庭の見どころガイドツアー事業	○	建物とともに館庭も紹介することができるようになったことで、西洋館の魅力来館者へより伝えることが可能となり、来館者の満足度の向上にもつながっている。
③ 西洋館「幻の茶室」講座事業	△	西洋館の建物と館庭の歴史を紹介する事業を行い、見るだけでは分からない西洋館の価値・魅力を参加者に伝えることができた。今後も継続的に実施することが必要と言える。
④		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	館庭の景観の向上により、西洋館の施設全体の魅力もアップした。このことはガイドツアーにおける来館者の反応や、撮影貸出における館庭の利用増加にも表れている。また駐車場を整備したことで、自動車を利用した遠方からの来館者も増加している。
実施事業について 成果が不十分である点	整備後の令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている時期であり、事業の中止または縮小をせざるを得なかった。このため整備に伴う効果を十分に発揮することは難しく、目標としていた来館者数は、増加するどころか減少してしまった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	最近の感染症の状況から、西洋館の来館者数についても、少しずつコロナ前に戻りつつある。このため広報紙やSNS等、様々な手段による広報活動を行うとともに、整備した館庭を活かした事業を実施することで、県内県外からの来館者数の増加につなげていく。